

研究講習事業報告

学発番号: 学22-020
事業名: 令和4年度 第2回京臨技遺伝子検査研修会
日時: 令和4年11月16日(水) 18:30~19:30
場所: Web開催
主 題1: PCR検査の精度保証~精度管理とコンタミネーション対策~
講 師1: 花房 信博 氏(株式会社島津製作所)
参加数: 総数:21名(京臨技会員:19名)
報告者: 白井洋紀(京都第一赤十字病院 検査部)

以下、講演内容など

内部精度管理とコンタミネーションについて実例を踏まえながら分かりやすく講演していただきました。島津製作所のAutoAmpは診療所から市中病院まで幅広く導入されている機器であり、そのような施設の内部精度管理状況も聞くことができ、大変興味深かった。コンタミネーションについては遺伝子検査を実施するにあたっては細心の注意を払うべき事項の一つである。コンタミネーションの原因から発生した時の対策まで解説していただいたので、各施設での注意喚起の一助になれば幸いである。

通常報告